

議会 だより

こがし
古河市

第 **58** 号

令和元年5月1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



わんちゃんもおさるさんもみんなだいすき♥古河のハナモモ！（古河桃まつり）

平成31年 第1回定例会 開催

第1回定例会は2月21日から3月8日までの16日間で開かれ、諮問2件、報告2件、議案43件について審議しました。2月28日、3月1日の2日間にわたり、一般会計予算特別委員会において一般会計、3月4日の特別会計・企業会計予算特別委員会において、13特別会計および水道事業会計の予算を審査しました。代表質問は3月5日に行われ、各会派の代表者が登壇し、一般質問は3月6日、7日の2日間行われ、8名の議員が登壇しました。請願7件、陳情1件については、5ページの一覧表のとおりとなりました。

平成31年 第1回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	31.2.21	同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	31.2.21	同意
議案第1号	平成31年度古河市一般会計予算	31.3.8	原案可決
議案第2号	平成31年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	31.3.8	原案可決
議案第3号	平成31年度古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）予算	31.3.8	原案可決
議案第4号	平成31年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第5号	平成31年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第6号	平成31年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	31.3.8	原案可決
議案第7号	平成31年度古河市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	31.3.8	原案可決
議案第8号	平成31年度古河市公共下水道事業特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第9号	平成31年度古河市農業集落排水事業特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第10号	平成31年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第11号	平成31年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第12号	平成31年度古河市片田南西部土地区画整理事業特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第13号	平成31年度古河市公共用地先行取得特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第14号	平成31年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計予算	31.3.8	原案可決
議案第15号	平成31年度古河市水道事業会計予算	31.3.8	原案可決
議案第16号	古河市地域福祉計画策定委員会設置条例の制定について	31.3.8	原案可決
議案第17号	古河市子育て拠点施設PFI事業等審査委員会設置条例の制定について	31.3.8	原案可決
議案第18号	古河市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第19号	古河市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第20号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第21号	古河市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第22号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第23号	古河市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第24号	古河市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第25号	古河市文化的施設整備基金条例の制定について	31.3.8	原案可決
議案第26号	古河市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第27号	古河市保育所設置条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第28号	古河市地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第29号	古河市建築基準条例及び古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第30号	古河市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	31.3.8	原案可決
議案第31号	平成30年度古河市一般会計補正予算(第5号)	31.3.8	原案可決
議案第32号	平成30年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	31.3.8	原案可決
議案第33号	平成30年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決
議案第34号	平成30年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決
議案第35号	平成30年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	31.3.8	原案可決
議案第36号	平成30年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決
議案第37号	平成30年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決
議案第38号	平成30年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決
議案第39号	平成30年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決
議案第40号	平成30年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算(第2号)	31.3.8	原案可決
議案第41号	平成30年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	31.3.8	原案可決
議案第42号	平成30年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計補正予算(第1号)	31.3.8	原案可決
議案第43号	平成30年度古河市水道事業会計補正予算(第3号)	31.3.8	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	真政会				古河市公明党				古河維新の会				市政 同志会			政研・ 市民ベースの会					無党派		
	黒川 輝男	鈴木 隆	園部 増治	赤坂 育男	渡辺 松男	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	増田 悟	倉持 健一	山腰 進	稲葉 貴大	渡邊 澄夫	小森谷英雄	佐藤 泉	生沼 繁	大島 信夫	秋山 政明	阿久津佳子	長浜 音一	秋庭 繁	落合 康之	四本 博文
議案第1号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第2号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第5号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第6号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第7号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第8号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第9号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第10号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第11号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第14号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第15号		○				○		×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第17号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第18号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第25号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
議案第31号		○				○		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
請願第6号		×				×		○	-	○	×	×	×	×	○	×	○	○		○	○	×	
請願第7号		×				×		○	-	○	×	○	×	×	×	○	○	○		○	×	○	

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	提 出 者	審議結果
平成30年 請願第2号	主要農作物種子法の復活等をもとめる請願	茨城県西農民センター 飯田 和夫	継続審査
平成30年 請願第6号	日本政府に国連・核兵器禁止条約への署名と 批准を求める意見書の提出を求める請願	原水爆禁止茨城県協議会 会長 加藤 岑生 他 39 団体	不採択
平成30年 請願第7号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」 の提出を求める請願書	新日本婦人の会古河支部 代表者 野田 初江	不採択
平成31年 請願第1号	古河市スポーツ振興のための「(仮称)多目的 スポーツ広場」整備に関する請願	五十嵐 順	採 択
平成31年 請願第2号	小児救急医療輪番体制の充実を求める請願	古河自然育児の会 よちよちクラブ 池田 綾子 ほか 271 名	採 択
平成31年 請願第3号	「医療的ケア児・者等における発電機購入に 対する助成を求める」請願書	古河市身体障害者(児)福祉 団体連合会 会長 赤坂 昇一	採 択
平成31年 請願第4号	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上 げに反対する請願	茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行	趣旨採択 (※)
平成30年 陳情第8号	議会として、「医師養成定員を減らす政府方 針の見直しを求める意見書」を国に提出する ことを求める陳情	茨城県医療労働組合連合会 執行委員長 松崎みどり	趣旨採択 (※)

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※趣旨採択…請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われる、「趣旨については賛成」とするもの

予 算 特 別 委 員 会 を 開 催

平成31年度 一般会計、特別会計予算 総額 854 億 2100 万円に



平成31年度一般会計、13特別会計および水道事業会計予算を慎重に審査するため、正副議長を除く全議員が一般会計予算特別委員会、特別会計・企業会計予算特別委員会に分かれ、2月28日、3月1日、3月4日の3日間にわたり、各会計予算の審査を行いました。

審査の結果、15件の予算案はすべて可決すべきものと決し、定例会最終日に本会議で各委員長から報告され、平成31年度の各会計予算は可決されました。

平成31年度予算に対する各会派の意見

真政会

新年度予算は、「未来（あした）を切り拓く挑戦の年」を推進すべく、民活による子育て拠点施設の整備、駅西常備消防施設の整備、市サッカー場改修、道の駅駐車場拡張等、市民の安心安全、若い世代の定住促進や交流人口拡大を図った予算編成がなされており賛成である。

黒川 輝男 鈴木 隆
園部 増治 赤坂 育男

古河市公明党

第2次総合計画における第1期基本計画の最終年度となる新年度予算には、当会派からの政策提案である「ヘルプカード」、「イングリッシュキャンプ」、「自治体アプリ」、「シティプロモーション課」等が導入され、効果の期待できる予算編成であり賛成する。

渡辺 松男 高橋 秀彰
佐藤 稔 霧見久美子

古河維新の会

先導的プロジェクトを行政事業レビューの対象とすること。また、シルバー人材センターが、本来の目的を達成できるよう行政支援をすること。さらに、消防団員のモチベーション向上や新入団員確保の点から、より丁寧な行政運営に努めることを強く意見する。

増田 悟 倉持 健一
山腰 進 稲葉 貴大

市政同志会

新年度予算には、議会への請願や当会派も要望していた市サッカー場の改修が含まれており賛成である。古河市のさらなる飛躍のために古河駅東部地区の文化交流拠点にスポーツ・文化複合施設アリーナ構想の推進を望む。

渡邊 澄夫 小森谷英雄
佐藤 泉

政研・市民ベースの会

プロセスが明確でない事業があり、重要な取り組みは見られなかった。「市民と共に考え行動する」体制強化が最優先である。現体制でさらなる前進は難しく、組織上に副市長を1名追加する予算に賛成し、より強い組織づくりを望む。

生沼 繁 大島 信夫
秋山 政明 阿久津佳子
長浜 音一

会派に属さない議員

新年度予算では、新産業用地を開発推進する一方で、福祉予算の切り捨てや子育て支援サービスの民営化等が含まれ、反対である。

秋庭 繁

平成31年度の予算執行にあたっては、基本理念である市民本位を忘れず、また、古河市のさらなる成長のために取り組んでほしい。

落合 康之

一般会計に小中学校不審者等情報システム事業費38万5千円を計上しているが、虐待に対する専門のチーム編成は最優先課題である。

四本 博文



市長の施政方針に対し 各会派の代表質問が行われました

第1回定例会初日の2月21日に、針谷力市長による平成31年度の市政運営の基本方針並びに施策について述べる施政方針演説が行われました。

3月5日には施政方針に対し、各会派の代表者が代表質問を行いました。



代表質問

質問と答弁の概要をお知らせします。



政研・市民ベースの会

(質問者：生沼 繁 議員)

施政方針について

問 ①先導的プロジェクトに関する市民アンケートの結果について②古河駅東部土地地区画整理事業のこれまでの経緯と今後の進め方③AIの具体的活用と組織マネジメント④住民自治組織の運営に対する行政の援助および、コミュニティ未結成地区への働きかけ⑤古河市子ども夢交付金の運用方法の見直しの予定⑥ICT教育の現状と今後の推

進に向けたプロセス、以上6点について問う。

答(市長) ①先導的プロジェクトを回答者の約9割が認識しておらず、広報での特集記事など周知活動を展開し、ご意見を伺いながら、各プロジェクトを推進していきたい。②事業開始以降、古河赤十字病院移転関連等、9回の事業計画変更を行っており、多くは計画に沿って進んでいるが、総合的文化施設建設については、計画が白紙となった経緯がある。今後は、道路延伸や基盤整備を進め、国、県の補助金等を最大限活用し、効率的な事業運営と工事の早期完了に取り組みたい。③音声認識を活用した電話相談業務などを考えている。職員の能力向上や古河

市情報化推進委員会で外部の有識者の意見を聞くなど、市民目線でのサービス向上を目指す。

④市では運営助成金等財政的支援を行っている。コミュニティ組織の未結成地区については、今後も粘り強く地域住民との話し合いを進めていきたい。⑤交付要綱等の見直しを行い、できるだけ多くの団体が活用できるようにしていきたい。⑥タブレット端末の購入など、教育環境整備に努めている。今後も教育用パソコンの整備促進に努め、プログラミング教育必修化に向けた指導體制を検討していく。





市政同志会

(質問者：渡邊 澄夫 議員)

文化交流拠点について

問 合併時の先導的プロジェクトの一つである古河駅東部土地区画整理事業を早期に完成させるためには、地内の文化交流拠点を完成させることが先決である。1万人の署名が集まった文化センターの建設と、老朽化した古河体育館の機能を合わせた複合施設をつくることにより、利用度、利便性が上がっていくと考える。またシンプルで維持

費のかからない、文化ホール、図書館、体育館などの複合施設が求められている。そこで、古河駅東部土地区画整理事業の今後の進め方と文化センターの建設構想について伺う。

答 (市長) 古河駅東部土地区画整理事業地については、新市建設計画の土地利用構想の中で文化交流拠点として位置づけられている。同事業地については新年度の早い時期に用途についての方針を決定し、文化交流拠点の形成を着実に進めていく。文化施設については、市が茨城県西地域の中心的都市として市民が豊かに暮らしていく上で必要である。しかし、行政の思いだけではなし得ないものであり、市民の気運の醸成が何より大切

であると認識している。先導的プロジェクトの一つである文化交流拠点の整備については、昨年実施した市民アンケートの結果や分析結果を踏まえ、これまでの計画の位置づけから事業を推進するものではなく、あらゆる機会を通じて市民からのご意見を伺いながら推進していきたい。また、スポーツ施設機能を含む複合施設が有用なのか、どのような図書館が良いのか、ファシリティマネジメントの観点も含めて検討し、古河市に合ったものをつくり上げていきたい。



真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

施政方針について

問 ①市民ファーストのまちづくり（避難所設置の具体策、新駅整備）について②文化交流拠点の形成について③戦略方針の中の上辺見保育所西側の土地利用について④国土強靱化計画を具体的にどのように進めていくのか⑤都市基盤整備における区画整理、新駅整備について⑥シティプロモーション課新設の内容、以上について伺う。

答 (市長) ①一時的な垂直避難場所を指定してはいるが、市では逃げ遅れゼロを目指し、自分にとって最も安全なタイミングで水平避難を推奨している。先導的プロジェクトである新駅設置をスピード感をもって推進するための財源として、合併後初めて新駅設置準備基金を積み立てる補正予算を計上した。②変化するまちづくりの将来ビジョンに対応するため、公共利用や民間活用などの手法をもって推進する。また、特定目的基金を明確に管理・運用し、市民にしっかりと示していく。③現時点の計画案では、さまざまな整備手法に柔軟に対応しながら、子ども家庭総合支援センター等を設置し、子育て拠点施設の整備を進めたい。④今後、計画に基づ

く各分野の施策を展開していくため、事業に対する評価、分析による施策方針やPDCAサイクルで進捗管理を行い、効果的な施策の推進につなげていく。⑤新駅周辺の区画整理事業と（仮称）南古河駅設置は密接な関係にあり、新駅設置の可否がまちづくり方針に大きく影響するため歩調を合わせ事業に取り組んでいく。⑥広報業務、統一かつ重点的な情報発信、魅力度向上のための企画調整を行い、市をプロモートしてブランド力を高め、マーケティングして営業していくための戦略的な情報を積極的に発信していく。





古河市公明党

(質問者：渡辺 松男 議員)

市民の命を守る災害に強いまちづくりについて

問 ①ハザードマップの改訂内容②タイムライン等の情報の周知方法③マイタイムラインの推進について伺う。

答 (市長) ①新たな浸水想定区域図は、最大規模の降雨を200年に1度から1,000年に1度の確率に変更し、より警戒レベルを上げている。②防災行政無線や防災・防犯メール等による情報

発信を行っている。③国土交通省が作成した楽しく簡単にマイタイムラインを作成できる逃げキッドを活用し進めていきたい。



子ども家庭総合支援センターについて

問 どのような機能をもっているのか。子育て支援の拠点として充実した内容を希望する。

答 (市長) センター内には親子交流スペースを設置し、子どもの遊び場、施設に親しみを持ってもらう場の提供、また、全国的にも整備が進まない病児、病後児保育機能についても導入し

たいと考えている。

シティプロモーション課の設置について

問 新設のシティプロモーション課の規模、位置づけ、業務範囲等について伺う。

答 (市長) 企画政策部内に置き、市の情報発信に係る総合的な企画および推進やフィルムコミッションなどで知名度アップを目指し、事業展開していく。広報担当係とプロモーション担当係の2係を予定している。

≪その他の質問≫

- ・市民協働について
- ・教育文化について
- ・生活環境について
- ・都市基盤について



古河維新の会

(質問者：増田 悟 議員)

市政運営の基本方針について

問 ①先導的プロジェクトの推進、周知手法②(仮称)南古河駅の設置についてどのように事業推進するのか③今後のスケジュール、以上3点について伺う。

答 (市長) ①市の広報紙で特集記事を組むなどを予定している。②スピード感を持ちつつ、周知や説明は丁寧に行うなど、市民の理解を得ながら進めていく。

③大堤南部土地区画整理事業によるまちづくりの推進など地元の意見を踏まえ取り組んでいく。

高齢者福祉政策について

問 ①シルバー人材センターの役割と認識について②シルバー人材センターとの関係修復について③30年度の貸付金等の執行状況④31年度の支援の考え方、以上4点について伺う。

答 (市長) ①高齢者の就業の確保を図り、社会参加活動の支援等を行うことにより、活力のある地域づくりに寄与するものと認識している。②今後も協議を重ね対応していく。③高齢者就業機会確保事業費補助金は、2回助成を行い、3月に3回目を

支払う予定である。④事業運用資金貸付金および補助金は30年度と同様に支援していく。

「安全で快適な古河(まち)をつくる」について

問 平成31年度より実施する①準中型免許等の取得費用助成②消防団応援の店、以上2点の概要について伺う。

答 (市長) ①準中型免許およびオートマチック車からマニュアル車への免許取得費の全額を助成する。②団員および家族を対象とし、市が認定した店舗等でサービスを受けることができる。



第1回定例会 一般質問

8名の議員が市政を問う



阿久津 佳子 議員

市民が望む公共施設について

問 まちづくりアンケート結果では、図書館・スポーツ施設等の文化複合施設を望む声が高い。そこで、①貸し館業務のある施設の整備（修繕、建て替え計画や備品管理等）について②子どもからお年寄りまで気軽に集える多目的・多機能な文化創造拠点が必要と考えるが、その建設基本構想・計画の策定について③古河駅周辺再開発を視野に入

れた、集客が見込める文化創造拠点の整備について、市民アンケート結果を受け、今後どのように進めていくのか伺う。

答（市長）②③文化施設の整備は、過去に総合的文化施設建設が白紙撤回になった経緯もあり、市民の皆さまとの合意形成を十分図った上で、段階的に取り組むべきと考えている。文化複合施設建設も視野に入れつつ、市民アンケートの結果を真摯に受け止め、まちづくりの方向性を判断していきたい。

答（健康福祉部長）①古河福祉の森会館では空調、電気設備等は管理会社に委託、毎日点検している。消耗品や備品は利便性を考え、買い替えや修繕を行っ

ている。また総和老人福祉センターでは、指定管理者が毎年実施する利用者アンケートの意見や要望を参考に、優先度の高いものから設備等の整備を行い、備品を適正に管理している。

答（教育部長）①体育施設、公民館施設等では利用者アンケート等で意見や要望を把握し、安全を最優先に修繕を行っている。今後も利用者が快適、安全に利用できる施設運営に努めたい。

大和市文化創造拠点シリウス
こども図書館 おはなしのへや

秋山 政明 議員

子どもの貧困問題について

問 日本の子どもの貧困率は先進国の中でも最悪な水準である。7人に1人の子どもが貧困と言われており、ひとり親家庭に限っては半数というデータがある。貧困状態にあると経済的にも困難になり、親が仕事に行っている時間が長く、復習や予習ができず学力が低下し、進学や就職に繋がらない。また、貧困世帯は虐待につながってしまうケー

スが高い。そこで①市の子どもの貧困の現状について②貧困問題の課題に対し、どのような解決策を行っているか③目標と今後の打ち手について問う。



答（健康福祉部長）①生活保護受給世帯の母子世帯数は平成31年2月1日現在で73世帯、0歳から18歳の受給者数は237名である。児童扶養手当支給世帯数は平成31年1月現在で1,271世帯、生活困窮者自立支援制度の相談件数のうち児童のいる世帯

数は平成30年12月現在で35世帯となっている。また、児童虐待相談のうち養育を放棄している件数が、平成31年1月現在で15件である。②子どもの貧困は単一原因からではなく、子育て世代の経済的負担や世代間の貧困の連鎖等が複雑に絡み合い起きている現象である。市では生活保護制度等による所得保障のほか、児童の医療費の無料化や虐待DV対策地域協議会の設置など、関係各課で複合的に提供することにより、子どもの貧困問題の解決を図ろうとしている。③現在実施している貧困対策の施策を、事業計画と事業目標に沿って実施し、引き続き対策を講じていきたい。



長浜 音一 議員

まちづくり整備について

問 議会内でも議論された事項である古河駅東部土地区画整理事業や（仮称）南古河駅設置、庁舎のあり方（仕様等）、文化施設について、執行部の回答内容からは、その具体的な方針が見えない。

事業を推進していくには、手順が見えなくてはいけない。そして、スケジュールを可視化し、市役所の中で意思統一を図ることが重要である。また、問題解

決のために現状を把握し、目標・理想の具体化、課題の特定、解決策を作成し、実行していく。こういった行政能力やマネジメント体制を高めていかなければならないと考えるが見解を伺う。



答（市長） まちづくりに関しては、いろいろな計画があり、その最上位が総合計画である。まず、全体像を捉え、その後に個別計画もつくっていかねばならない。ご指摘のようにきちんと手順を示し、ほかの計画との整合性を図ることが市民の理

解を得られやすい事業の進め方だと思っている。

市民ニーズを的確に捉え、今後のまちづくりに生かすためにも、市民アンケートや市民との対話の場を重ね、双方の情報共有と協働を実感できる手法を用いながら、事業に取り組んでいきたい。

答（企画政策部長） 文化施設や古河駅東部土地区画整理事業等については、各担当課で事業を推進しているが、全庁的に意思統一した形で進めていくべきである。

マネジメント、行政運営の力量については、職員の能力向上が当然必要である。組織マネジメント、人材育成等も含めてしっかり行っていくべきであると考えている。



鶴見 久美子 議員

高齢者対策について

問 認知症について正しい知識を持ち、その人らしさを理解し受け入れて尊重するという基本的な態度が大切であり、その手助けになっていただく方が認知症サポーターである。また小中学生など10代以下のサポーターを養成することで、相手の気持ちを思いやり、地域で当たり前のように認知症の方と接することができる。サポーターについての課題および教育の一環とし

ての小中学校での養成講座実施について所見、課題を伺う。

答（健康福祉部長） 高齢化の進む中、認知症を正しく理解するとともに、サポーターの養成を継続し、活躍の場を増やしていくことが必要と考えている。小中学生の養成講座は、現在中学生のみ行っており、平成30年度は844人を養成している。

答（教育部長） 人権や福祉に関する教育として認知症サポーター養成講座の実施は重要である。教育活動における位置づけ等を検討し、効果的に実施していくことが課題である。

子育て支援について

問 授乳室が設置されていない

公共施設もあるため、授乳など赤ちゃんをケアできる完全個室の移動式箱型授乳室の導入について所見と課題について伺う。

答（健康福祉部長） 移動式箱型授乳室は畳1畳ほどのスペースと電源があれば工事不要で設置でき、施錠もできるため安心して利用できる。スペース的には授乳室が未設置の公共施設にも設置可能なので、利用者のニーズや情報収集を行い、設置の必要性を検討していきたい。



移動式箱型授乳室



高橋 秀彰 議員

RPA（パソコン自動処理）の導入について

問 RPAは、パソコン操作の一部もしくは全部を、ソフトウェアロボットが自動化するもので、パソコン上でソフトウェアロボットが、人に代わって自動的に情報処理などを実施するシステムである。RPAのメリットは、業務時間の短縮と、ミスの少ない的確な情報処理ができてことであり、職員がパターン化された業務から解放され、付加価値の高い、政策的な業務へ

の取り組み等が可能となり、働き方改革につながる効果が期待できると考える。職員の業務負担軽減や、何よりも市民サービスの向上につながるものであり、今後、RPAの導入に向け、積極的に検討を進めてはどうか。



答（企画政策部長） RPAは、これまで手作業で行ってきた定型なパソコン操作を、品質を落とさず自動化することが可能であり、比較的低コストかつ短期間で導入できるソフトである。つくば市では、個人住民税における事業所の新規登録業務や法

人市民税の電子申告審査業務など6業務の稼働実績により約8割の時間外勤務の削減を得ており、RPAの潜在能力は非常に高いと考えている。また、RPAの導入による作業時間の短縮で時間外費用が削減でき、短縮された作業時間を住民とのコミュニケーションなどに充てることで住民サービスの向上も期待できる。導入に向けた課題として、費用対効果の見極めや業務の選定等があるため、ワーキングチームを立ち上げ、より効果的な業務の選定やシナリオ作成技術の習得などを検討していきたい。

《その他の質問》

- ・一人暮らし高齢者の終活支援について



落合 康之 議員

ごみの収集について

問 2月の初めから急に回収が厳しくなったと市民から相談を受けた。これまではレジ袋でも回収していたが、黄色い紙を貼られ集積所に残されるようになった。そこで①最近になって回収が厳しくなった理由は何か②厳しくするにあたり周知方法に無理はなかったか③レジ袋でゴミを出せない理由は何かを伺う。

4月からごみ袋としてのレジ袋の使用を禁止しているが、一部レジ袋によるごみ出しが継続的にあり、正しく行っている市民からの意見が多々あったため、現場の状況を鑑み、収集の徹底を図っている状況である。②ホームページや出前講座等、周知は常に行ってきた。レジ袋で出されたごみは警告シールを貼っているが、今回のごみ収集の徹底については事前の通知もすべきであったと感じている。③地球環境に対する資源枯渇防止等の観点からレジ袋削減とマイバッグ持参を推進してきた。レジ袋の使用を抑える行動を推進するために禁止させていただいた。

ページに記載がある。古河市はレジ袋削減のために平成22年度からレジ袋でのゴミ出し禁止を始めたが、統計も取っていない。数値を示さず、レジ袋をごみ袋に入れれば回収するといったやり方は、過剰包装であると思うが、レジ袋を指定ごみ袋にできないのか。

答（市長） 事業所にとってレジ袋はPRの一つであり、できないとのことだった。レジ袋も含め、総合的にごみ減量化の運動を進めていきたい。

（再質問） 宇都宮市はレジ袋をごみ袋として使用可能とホーム



答（生活安全部長） ①平成22年



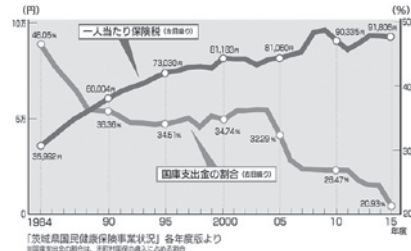
秋庭 繁 議員

古河市の国民健康保険税の大幅値上げについて

問 全国知事会は、健康保険制度維持のため、国に1兆円の負担を求め、均等割、平等割を廃止すべきとしている。古河市で均等割、平等割を廃止すると国民健康保険税はどう変わるか。

答（生活安全部長） 一例として、給与年収400万円で4人家族、夫婦と子ども2人の場合は、現在の国民健康保険税が33万1,100円だが、均等割、平等割を廃止

すると21万7,300円で、差額はマイナス11万3,800円となる。



県の年間国保税と国庫負担割合

小中学校の給食費の無償化について

問 全国、県内でも無償化が始まっているが、市の考えを伺う。

答（市長） 財政負担を考えると、児童数の変動がなければ概算で5億1,000万円が毎年かかり、食材費等が高騰すれば、さらにそれ以上の金額となる。他市町村を見ると、古河市よりも人口の

少ない町等で給食費の無償化が実現できている。給食費はあくまでも賄い材料費についてご負担をいただいている。

古河市が参加している思川開発（南摩ダム建設）について

問 南摩ダムの水利権は83億円だが、そのほか周辺整備費等について伺う。

答（上下水道部長） 平成16年からダム完成までに栃木県および鹿沼市において実施される事業費の一部を負担している。古河市の負担金総額は約11億3,100万円で、毎年度の事業実施額に応じ負担金を支出しており、平成29年度までの支出合計額は約3億9,800万円である。



四本 博文 議員

古河市総合的文化施設の建設計画および設置について

問 総合的文化施設の建設について、どのように実施するのか。また、合併特例債を活用した建設促進の考え方について伺う。

答（市長） 総合的文化施設の整備については行政の思いだけでは到底なし得ず、市民の理解、協力も必要である。市や市民にとって真に必要なものは何かを見極め、対応していきたい。

答（企画政策部長） 文化施設は、

過去に白紙撤回になった経緯もあり、行程については現在はお示しできない。財政的にも有利である合併特例債が活用できる新市建設計画の延長についても準備を進めていく。



当初の計画にあった複合施設（文化センターの完成予想図）

児童虐待防止の対策および民間シェルターの強化について

問 千葉県野田市で、虐待の兆候がありながら、児童相談所や教育委員会が見逃し、小学校4年生の尊い命が失われた。悲劇を繰り返さないための取り組みについて伺う。また、内閣府が

DV等の被害者のための民間シェルターの強化を議論しているが、近隣自治体や国、県と連携した今後の対応について伺う。

答（市長） 第2期古河市虐待・DV対策基本計画に基づき、安心して暮らせるまちの実現を目指し、関係機関、団体等との連携を一層強化しながら、早期発見、相談体制の強化等に取り組んでいきたい。

答（健康福祉部長） 虐待等による一時保護については、児童福祉法第33条で、児童相談所長の権限とされており、筑西児童相談所に依頼し実施している。これまで以上に児童相談所や警察と緊密に連携を取り、対応していきたい。

表紙写真を募集しています！



※応募方法など詳細については、市ホームページもしくは議会事務局までお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか！

市議会はどこでも傍聴することができます。

- 傍聴の手続き
当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。
本会議場の定員は62名（うち車いす席2名）です。
- 傍聴場所
古河市役所古河庁舎3階

★第1回定例会の傍聴者数★

議場コンサート	12人
本会議	101人
委員会（特別委員会含む）	0人
合計	113人

※傍聴者数は延べ人数



平成31年3月8日撮影

議会の様子を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会 中継 検索



QRコード



○次回の定例会は6月に開催予定です。

※詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

私ども議会だより編集委員会は、この号をもちまして任期満了となります。この4年間、古河市においてはさまざまな変化がありました。そしてこれからの4年間はより一層変化が激しく、市政運営が難しい局面を迎えます。市民の皆さまには、新しい時代「令和」の到来と、新体制でスタートする議会に期待していただくとともに、これまで以上に市政に関心をお寄せいただき、議会と共に、古河市発展にご協力をお願い申し上げます。

委員長 秋山 政明

【議会だより編集委員会】

- 委員長 秋山 政明
- 副委員長 稲葉 貴大
- 委員 阿久津佳子 鶴見久美子
- 鈴木 隆 渡邊 澄夫

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎ 0280-22-5111 (代)



環境にやさしい植物油インキを使用しています